

政策コメンテーター報告(第2回)(意見照会期間:2016年10月31日～11月11日)

分野:	少子高齢化、社会保障
氏名:	清水 肇子 公益財団法人さわやか福祉財団理事長
質問事項	記述式回答
予測される経済・社会的な構造変化(2030年)	(300字以内で回答してください)
(1)① 2030年には、各分野において、どういった経済・社会的な構造変化が予測されるでしょうか。	AIや介護ロボット等テクノロジーを活用した介護産業の進展、病院死から在宅死の増加。一方、老老介護、認知介護がますます増加し、移動困難に伴う高齢世帯のさらなる社会的孤立化、さらには現在問題となりつつある高齢者による運転事故の頻発可能性。消費においては、ネット社会を苦しめない高齢者層の増加により消費流通行動の変化(国内外ネット通販の拡大に伴う流通産業の再編)。また、生殖医療や新生児前診断等、妊娠と出産における新たな医療技術が普及する一方で、産み分けによる男女比の歪みや、妊娠後の産まない選択の増加による新たな少子化要因の発生の可能性。
目指す経済・社会の姿(2030年)	(200字以内で回答してください)
(1)② また、そうした構造変化を踏まえ、我が国が目指す経済・社会の姿はどうあるべきでしょうか。	多様な価値感を認め合える社会、経済的社会的格差のいかにかわらず、生活をすべての人が主体的に楽しめる共生社会の実現。
今後取り組むべき構造改革(2016年～2030年)	(300字以内で回答してください)
(2) 上記(1)で挙げられた経済・社会の姿を実現するためには、足元から今後に向けてどのような構造改革に取り組むべきとお考えでしょうか。基本的な考え方や具体的な方法がございましたらご記載ください。	機会の平等を実現し、経済的社会的格差の解消のため自助努力を行う意義が感じられる社会を実現する。併せて共助共生を重視する社会的文化を醸成し、共助の絆の中で自らの能力を他者や社会のために発揮することをいきがいとする価値観をはぐくむ。人と人がつながり合う地域コミュニティの活性化は不可欠な基盤であり、活発に地域社会とつながることは介護予防にも大きく貢献する。自家用車に代わる互助の移動手段の整備が不可欠であり、阻害要因となっている規制を抜本的に見直し公共交通・タクシーとの新たなすみ分け、連携の仕組みを創出する。また有償ボランティアも社会参加・介護予防・地域貢献の観点から社会の仕組みの選択肢に位置付ける。

政策コメンテーター報告(第2回)(意見照会期間:2016年10月31日~11月11日)

分野:	人材育成・働き方	
氏名:	清水 肇子	公益財団法人さわやか福祉財団理事長
	質問事項	記述式回答
	予測される経済・社会的な構造変化(2030年)	(300字以内で回答してください)
(1)①	2030年には、各分野において、どういった経済・社会的な構造変化が予測されるでしょうか。	これまでの大学の淘汰がすすむ一方で、介護福祉・地域コミュニティ部門で多様な大学機関による教育の充実がすすむ。ICT活用によるテレワークの拡大、組織に所属する働き方だけでなく個人起業のさらなる拡大。アジア等からの海外人材が企業の中核ラインで活躍する可能性が広がる一方で、しかし、AIの発達により単純労働のみならず知識の記憶、意思決定・決裁の分野にも応用が利くことから、人がかかわる職務の量および範囲が大幅に変化し失業が拡大するリスクもある。
	目指す経済・社会の姿(2030年)	(200字以内で回答してください)
(1)②	また、そうした構造変化を踏まえ、我が国が目指す経済・社会の姿はどうあるべきでしょうか。	多様な価値感を認め合える社会、経済的社会的格差のいかにかわらず、生活をすべての人が主体的に楽しめる共生社会の実現。
	今後取り組むべき構造改革(2016年~2030年)	(300字以内で回答してください)
(2)	上記(1)で挙げられた経済・社会の姿を実現するためには、足元から今後に向けてどのような構造改革に取り組むべきとお考えでしょうか。基本的な考え方や具体的な方法がございましたらご記載ください。	問題発見能力、異なるものをつないで新たな価値を創造する能力、他者の潜在的な気持ちをくみ取る能力など、新たな時代に対応できる人材の育成をすすめる。特にICTや医療技術が革新的に進むからこそ、人としての倫理観、他者の心の痛みの理解、自律する心の育みがより一層重要となる。これらは机上の押し付けでは身に着かず、多様な人々との自然な交流の中でこそ醸成される。小さい頃から就職後に至るまで、関心を持つ様々な分野で地域社会との接点を持てるような環境づくりをすすめる。またそれにより伝統芸術・技能等にも身近に接する機会を深め、後継者発掘にもつなげていく。

政策コメント報告(第2回)(意見照会期間:2016年10月31日~11月11日)

分野:	その他
氏名:	清水 肇子 公益財団法人さわやか福祉財団理事長
質問事項	記述式回答
予測される経済・社会的な構造変化(2030年)	(300字以内で回答してください)
(1)① 2030年には、各分野において、どういった経済・社会的な構造変化が予測されるでしょうか。	(すべてのテーマに影響する構造変化の課題として:グローバル化とIT化の急速な進展によって先進国内の格差が急激に増大し、各国で排外政策、保護政策への後退の流れが強まりつつあることから、国際情勢のさらなる不安定化、それによる国内経済の失速の可能性も十分に窺える。また今後15年の間には残念ながら大規模自然災害が発生する確率も高く、全体としてはこうした諸リスクの要素をある程度織り込んだうえで検討することが必要である。)
目指す経済・社会の姿(2030年)	(200字以内で回答してください)
(1)② また、そうした構造変化を踏まえ、我が国が目指す経済・社会の姿はどうあるべきでしょうか。	
今後取り組むべき構造改革(2016年~2030年)	(300字以内で回答してください)
(2) 上記(1)で挙げられた経済・社会の姿を実現するためには、足元から今後に向けてどのような構造改革に取り組むべきとお考えでしょうか。基本的な考え方や具体的な方法がございましたらご記載ください。	